

県労連 あomor

2013年7月5日 第274号

発行所 青森県労働組合総連合(青森県労連)
〒030-0852 青森市大野若宮 165-19 Tel 017-762-6234
発行人 青森県労働組合総連合(毎月5日発行) 定価 10円
1992年10月30日 第三種郵便物認可
本紙の購読料は組合費に含まれています。

生活破壊の安倍政権に 参議院選挙で審判を!

奥村榮県労連議長の訴え



奥村 榮 議長

7月21日投票日で4日に参議院選挙が公示されました。昨年暮れの総選挙は、民主党政権への失望と、民意を反映しない小選挙区制で自民党が勝利という結果。第二次安倍内閣が誕生してほぼ半年。安倍内閣への全国規模の初の審判にあたり、奥村県労連議長が訴えます。

での安定多数の確保をねらっていた。

だが、内閣支持率の高さを背景に、総選挙時の公約違反のTPP交渉参加をはじめ、道州制推進基本法の制定、原発再稼働・原発輸出、憲法改定を推進し、再びその本性をむき出しにきている。

「アベノミクス」での「三本の矢」は、実体経済を伴わない「大幅な金融緩和」で資金が株や投機に流れ、株価の高騰と乱高下を引き起こしている。大規模な財政出動も、すでに失政済みのゼネコン型大規模公共事業である。



写真=第84回メーデー県中央集会デモ行進

その教訓から、本来の大企業支配・アメリカ従属と復古主義を前面には出さずに、「デフレ不況克服」という景気問題を前面に押し出すことで、参議院選挙勝利

国民主権の絶好の機会 「怒り」を巻き起こそう

「国民の怒り」が政治を変えて来た歴史を思い出し、大は、二〇〇九年の総選挙で、選挙による初めての政

権交代を実現した。

しかし、公約違反を繰り返す民主党は、国民の怒りによって、二〇一二年の総選挙で惨敗して政権から転落した。この国民の怒りは、自民党にとっても恐怖である。

自公政権による悪政を白日の下にさらし、国民の怒りを巻き起こそうではないか!悪政を阻止し、真に民主的な政策と国民主権を実現する絶好の機会が、まさに参議院選挙なのである。

自公政権による悪政を白日の下にさらし、国民の怒りを巻き起こそうではないか!悪政を阻止し、真に民主的な政策と国民主権を実現する絶好の機会が、まさに参議院選挙なのである。

13年国民平和大行進

北海道⇩青森県側へ引継ぎ



集会のあと、青森市内を行進

5月6日に北海道・礼文島を出発した北海道から東京コースの「国民平和大行進」青森県側引き継ぎ集会が6月2日、青森市平和公園内時計塔前で行われ、青空が広がる快晴下、300名が集いました。集会は歌声でオ-

プン。谷崎嘉治県原水協会長が主催者挨拶。鹿内博青森市長からのメッセージ紹介、通し行進者の決意表明などの後、各団体の行進旗の引き継ぎをしました。震災被災者と連帯し、核兵器のない平和で公正な世界のために歩こう」というアピールを採択、公園から県庁までの約2kmを行進。

翌日から2コースに分かれ県内行進。太平洋コースは8日に岩手県、日本海コースは6日に秋田県に引き継ぎました。

言論の自由を守れ 「秘密保全法」学習会

憲法ネット青森など6団体主催、県自由法曹団後援の「秘密保全法学習会」が約70名の参加で6月1日、青森市・しあわせプラザを会場に行われました。

講師は青森市出身の人権弁護士で自由法曹団事務局長の泉澤章氏。泉澤氏は安



講演会

倍政権下での明文改憲策動を秘密保全法制定と同時に並行で進め、「海外で戦争をする国」づくりのために、国家権力にとって都合の悪い情報を国民の目から隠し、世論・情報操作をしやすくすること、情報取得・漏えいを処罰対象にする狙いがあると強調。

県労連・保険医協会共催 第16回カレイ釣り大会



表彰式のあと全員で記念写真

県労連・保険医協会共催「第16回カレイ釣り大会」が6月23日、野辺地沖で開催されました。早朝4時に漁港に集合した56人の腕自慢の面々は開会式後、6隻の漁船に分乗して早速、出港。それぞれのポイントに



集会は原発サイに隣接した「大間原発反対地主の会」民有地で開催。弘前市出身のルポライターの鎌田慧氏、「あさこハウス」の小笠原厚子氏、津軽海峡対岸の函館市民50名ほか、他県からも多数参加。奥村県労連議長など9

原発反対 大間現地集會に500名 成功のため県労連など奮闘

6月16日に、大間原発反対現地集會と町内デモ行進がほぼ500名の参加で開催されました。現地集會実行委員会主催で今年6月6回目。今年、県労連始め21団体で「現地集會を成功させる実行委員会」を結成し結集。約170名を集め、集會成功のために奮闘しました。

「大間原発建設断念、全原発の廃炉、核関連施設廃止のために全力で行動する」の集會宣言を採択。その後、大間町内を色々な楽器でサウンドを響かせ、力強くデモ行進。 「原発反対」子どもを守護するなどのシュプレヒコールに、家の中から手を振ったり、玄関先に出てきたりして応援する町民の姿が多く見られました。

移動しました。天候は曇りで西寄りの風がやや強く、絶好の釣り日和。しかし、途中から陽差しが強まり、暑さとの闘いも。釣果は船により大きな差が生まれ、重量賞入賞者は全員が同じ船。外れた参加者からは、「腕より船の差」の声がしきり。

カレイ総重量賞入賞者4名、同大物賞3名、アブラメ大物賞2名、ユニーク賞1名(ホヤ)でした。入賞を逃した参加者は、早くも来年のリベンジを誓っていました。



質問に答える岩井氏

6月8日の午後、県労連など14団体で構成する「核燃料サイクル施設立地反対連絡会」は、学習会と年次総会をアピオあおもりで開催しました。

前半は、日本原子力研究開発機構労働組合中央執行委員長岩井孝氏を講師に「福島原発は今どうなっているか、原発の新規制基準とは何か」と題しての学習会。これには会場一杯の約100名が参加しました。続いての総会では方針、新役員体制を確認しました。

県民総決起集會 TPP参加断固阻止を

6月5日にJAGループ青森県生協連、県漁連、県森林連の4団体主催で「TPP参加断固阻止県民総決起集會」が、森市地区からマイクロバス2台や自家用車に分乗して約50名が参加。同じように西北五地区50名、弘前地区30名、三八・上北・下北地区で40名の、全部合わせて約170名が参加。



県内全域で3000人

先日の総選挙の公約を破りTPP交渉参加を表明した安倍内閣。7月にも交渉が始まる緊迫した情勢下、TPP交渉参加絶対阻止に向けた運動強化の決議文を満場の拍手で採択しました。

夫婦でクッキーにかよっています。(成田夏彦・年金者組合) 生活を守る党はどこか、弱者の味方はどこか、五感をフル回転して投票しよう。(長内一・建交労)

GW中の5月4日、被災地の今を見ておこうと45号線を走った。宮古市、山田町、大槌町、陸前高田市。復興の遅れを感じた1日だった。(新岡武信・三八地労連)

この春、息子が大学進学しました。教育費はすべて無料にすべきたと、いつも思います。(立柳直子・県国公家族)

第272回 まちがいがし

ハガキかFAXかメールで回答。氏名、住所、組合名を書いて送って下さい。余白に職場の様子や最近の出来事などをぜひお寄せ下さい。正解者の中から抽選で図書券をプレゼントします。

締切 8月15日
発表 9月号
宛先 〒03010852 青森市大野字宮 165-119 FAX、メールは欄外に表記。第272回まちがいがし係まで。第270回答えと当選者

《答え》
① ジェットコースターの線路
② ジェットコースター
③ 観覧車
④ こいのぼり
⑤ 右手前の男の子
⑥ 右のティーカップ
⑦ 女の子のポニーテール

《当選者》
13通の応募で4通正解でした。当選者は次の方々です。おめでとうございます。
小山内一(建交労)
立柳直子(県国公家族)
工藤順勝(私教連)

4月より再雇用で頑張っています。(工藤順勝・私教連)

今頃になって
気温があがっても遅い。来年こそは合浦公園で…。
(細川弘彦・年金者組合)

GW中の5月4日、被災地の今を見ておこうと45号線を走った。宮古市、山田町、大槌町、陸前高田市。復興の遅れを感じた1日だった。(新岡武信・三八地労連)

まちがいがしや、クロスワードパズルが楽しみで勉強になりました。(紀田富子・年金者組合)

先日、頂き物のウド

夫婦でクッキーにかよっています。(成田夏彦・年金者組合)

生活を守る党はどこか、弱者の味方はどこか、五感をフル回転して投票しよう。(長内一・建交労)

夫が丹精したボタンが今年も咲きました。夫はどこからか見ているでしょう。(青森空襲の戦跡めぐりをしました。もっとゆっくり見たいな。)(工藤哲子・年金者組合)

この春、息子が大学進学しました。教育費はすべて無料にすべきたと、いつも思います。(立柳直子・県国公家族)